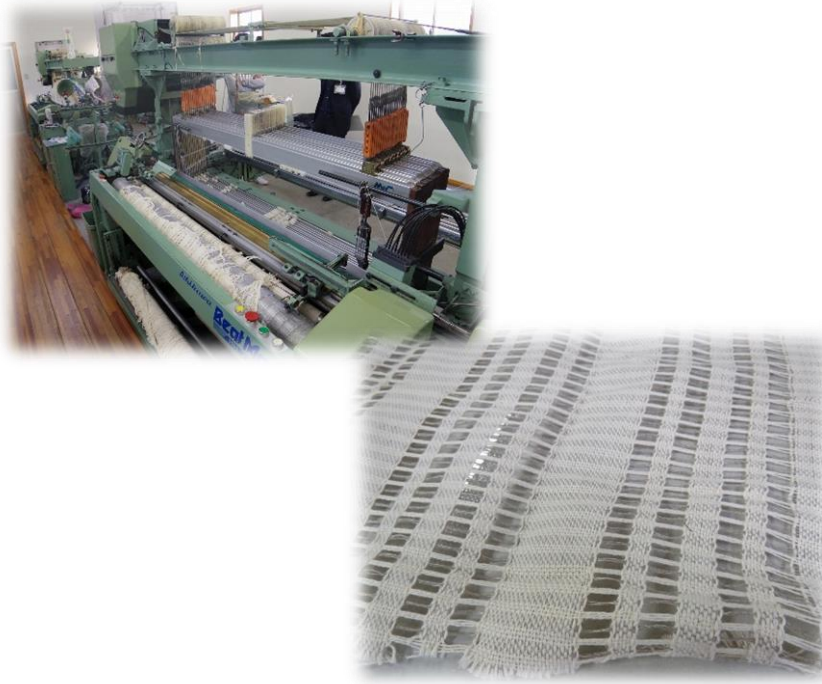


2020年度 西脇市ものづくり・あきない経営革新支援事業補助金 実績一覧

No.	事業名・成果物	実績
1	<p>産地の特性を生かした生地を使用した新製品開発事業 (株式会社西脇小西)</p>  <p>播州織を使用した、デザインと使用感、汎用性に富んだエプロンの製品化に向けた企画、開発に取り組む。</p>	<p>補助金額：326千円</p> <p>【進捗状況】 播州織を使用した、デザインと使用感、汎用性に富んだ前当て付きとギャザーの2型のエプロン製品の開発ができた。ブランドロゴ開発と合わせて製品化と販売に向けて進めている。</p> <p>【成果】 今回、新たにオリジナル生地の制作から最終製品まで試作開発することができ、自社の販売製品を増やすことにつながった。</p>
2	<p>播州織の高機能マスク開発事業 (株式会社播)</p>  <p>ジャカード織の播州織を使用した高機能マスクと広告宣伝として企業ロゴ入りのマスクを開発し、新たな販路開拓に取り組む。</p>	<p>補助金額：1,592千円</p> <p>【進捗状況】 播州織を使用した、デザイン性に優れ、抗菌・消臭・抗ウイルスの高機能を有するマスクと、広告用に企業ロゴ入りマスクを開発することができた。今後は、店舗やオンラインショップでの販売を進められる。</p> <p>【成果】 マスク需要は高いものの多種多様な製品がある中、高機能を有したことや広告用として使用できるマスクであることから、新たな販路開拓に取り組むことができた。</p>

極粗目の絡み織り生地の新製品開発事業  
(有限会社藤井試織)



3

現在の織機では製品化が困難な極粗目の絡み織りの生地開発を行い、シースルー素材として新たな生地の製品化に取り組む。

補助金額：732千円

【進捗状況】

レピア織機に専用装置を設置し、女性向けシースルー素材等である極粗目の絡み織り生地の製品化の開発を進めることができた。

【成果】

絡み織り装置等を導入し、残糸を活用した極粗目の生地を試作開発でき、取引先等から特長のある生地と好評を得られた。また、生地開発を行う中で、独自のノウハウを得られた。